

## 1 単元 修学旅行の思い出

- 2 目標
- 文字の大きさや中心などに気をつけて、字配りよく書くことができる。
  - 自ら課題を見つけ解決し、進んで学習することができる。
  - 作品としてまとめていく活動を通して、書くことの楽しさを知り、日常生活に生かしていくことができる。

## 3 指導計画(単元構想)

|                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語科 1時間<br>俳句・川柳作<br>りをしよう。            | <p>国語科書写(全3時間)</p> <p>第1時 学習計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用紙や用具を決める。</li> <li>・ 試し書きをして、自分の課題を見つける。</li> </ul> <p>第2時 自分の課題にしたがって準備や練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 字配りや文字の大きさ、中心など、どんな書き方をすればよいのかを話し合う。</li> <li>・ 自分の計画に沿った練習方法を選び、または自分で工夫して準備や練習をする。</li> </ul> <p>第3時 練習したことをもとに、作品を仕上げよう。<br/>(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丁寧に、読みやすく、まとめ書きをする。</li> <li>・ 鑑賞会をして、自分や友達の作品のよさを認め合う。</li> </ul> |
| 図工科 4時間<br>自分だけの印<br>を作ろう。             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 図工科 6時間<br>修学旅行の思<br>い出を絵や版な<br>どで表そう。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 4 指導上の立場

- 高学年における書写の指導では、「文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書くこと」「毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方を理解しながら、文字の形を整えて書くこと」「毛筆を使用して、字配りよく書くこと」をねらいとしている。

本単元は、今までの学習を生かして、小学校の最大の行事である修学旅行の思い出を、俳句・川柳と写真・絵で紹介する学習である。読み手に読みやすく表現すること、また、書き手の思いが伝わる文字を書くことが大切な活動になる。このことは、自分たちの感じたことや経験したことを、全校児童や家族に紹介するという目的意識や相手意識をもつことにより、さらに主体的な学習ができると思われる。そして、字配りや文字の大きさ、中心などの、書写の時間に学習したことを整理するとともに、丁寧に書こうとする態度が身につく、児童の文字意識が高められると考え、本単元を設定した。

また、この単元は、俳句・川柳作りの他にも、招待状・掲示物などを作る活動や、文集・はがきなどを書く活動にも生かすことができる。小学校における書写学習のまとめの時期であることを考えて、硬筆との関連指導も強化して、書写学習の生活化・日常化へと結びつくようにさせたい。

- 本学級の児童は、書写の時間を楽しみにしている児童が多い。また、字が上手に書けたり、教師や友達に認められたりすることに喜びを感じている児童も多い。  
6年生になると、一定時間内に書く文字数と、速さが要求される場面が多くなる。文字を正確に速く書くためには、姿勢や用具の持ち方、筆順、点画の長短や方向、文字の中心などの基礎的基本的な事柄の習得が大切な要素となる。意識すればできる児童も増えてきているが、日常の生活の中では、ノートやテスト、連絡帳などの文字を丁寧に書くという意識は低く、乱雑になりがちである。  
また、小筆や筆ペンは標語や目標、詩などを書くときに使うようにしている。俳句・川柳についても、6年生当初から学校行事や日常生活の中で感じたことを折にふれ書いてきた。「五・七・五」の短い言葉で表すことに興味を感じている児童が増えてきている。1学期に、山の学習で経験したことを自分の書きたい用具で作品にしたときは、自分の思いをもとに自分の手で作り上げていく充実感・満足感を得た児童がたくさんいた。用具も筆ペンの活用が目立ったが、途中で小筆に換えた児童、さらには墨汁ではなくてすった墨で書きたいという児童も数名いた。  
しかし、大筆のように点画の筆使いや文字の組み立て方に注意しながら書いている児童は少ない。短冊のような用紙に書くとすると、行の中心と文字の中心がずれる、文字が端に寄ってしまう、文字がつまってしまうなどの問題点も見つかった。  
そこで、本単元では、これらの課題をふまえた指導を進め、日常の書く活動に生かそうという意欲を育てたい。
  
- 本校の研究テーマ「生きる力を育む書写学習のあり方 - すすんで取り組み、書く喜びのもてる学習をめざして - 」に迫るために、本学級では、自分のめあてをもち、主体的に課題解決できるように配慮した。児童が自分の力で課題解決することは、学習の楽しさや喜びを味わい自信につながる。そして、次の学習への意欲を生むと考えられる。課題解決のための方法は、教師が提示するだけではなく、既習の学習をもとに児童自らが考え出せるようにしたい。そのためには、学習形態や用具・資料の準備などを支援していきたい。  
本単元では、試し書きをした後、学習カードを使用して自分の課題を書き出させてみる。自分の文字の特徴を知り、自分の課題を明確にし、課題解決のためにはどうすればよいか、作品をよりよく仕上げるために自分がしなければならないことをはっきりさせ、見通しをもたせたい。つまり、次時はどんな練習がしたいか、どんな準備をすればよいかを、自分で工夫し、決めさせたい。書く用具、用紙の種類・大きさも自分で選ばせる。  
本時は、書く時間の確保および児童の書きたいという意欲を考えて、60分授業とし、児童の主体的活動の助言者・相談者として支援をしていきたい。そして、仕上げの作品ができ上がった段階では、一人ひとりのめあてに着目して、自分の伸びや友達の伸びを認め合う場をもつことにより、書く喜びを味わわせ、生活の場に生かそうという意欲も高めさせたい。
  
- 本単元では、「修学旅行の思い出」という単元名で、国語・図工科の学習との関連を図ることにした。  
書写の学習の成果は、書き文字のよさを生かした表現活動や表現方法を多様化することで、生活化・日常化できるものと考えられる。そこで、作品は、文字だけでなく、図工の時間に描いた絵も加えて俳画の形にしたい。それにより、より意欲的な活動を引き出し、一生懸命取り組んだ成果として残る作品が一人ひとりにとってすばらしい修学旅行の思い出となると思われる。  
また、図工の時間に取り組んだゴム印を落款として押させたり、「五・七・五」の散らし方を自分なりに工夫させたりして、作品感を出すとともに、普段とは違った形で作品を仕上げて、書くことの楽しさを知り、日常化を図りたい。  
「散らし」については、あまり深入りせず、めあてを優先させる形で工夫させたい。

5 本時案（第3時）

|                  |                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                             |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 目標               | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作った俳句・川柳を、書きたい形式や用紙、用具を選んで、丁寧に、読みやすく書くことができる。</li> <li>意欲的に作品づくりに取り組むことができ、自分や友達の伸びを見つけることができる。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                             |
| 学 習 活 動          | 教 師 の 支 援                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 準 備                         |
| つ<br>か<br>む      | 1 めあてを確認する。                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>本時は、今までに学習したことをもとに、自分の作った俳句・川柳を、丁寧に、読みやすく書くことを確認する。</li> <li>児童の意欲を高めるための教室環境を整えておく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           自分の作った俳句・川柳を、丁寧に、読みやすく書こう。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><u>用紙別グループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色紙グループ      ・カード（半紙大）グループ</li> <li>・カード（四つ切り大）グループ      ・短冊グループ</li> <li>・その他（長半紙・条幅半分、全紙半分）</li> </ul> </div> | 参考例<br>学習資料<br>写真<br>めあてカード |
|                  | (用紙別グループ)                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習カードに自分のめあてを書いて、常にめあてを意識することができるようにする。</li> <li>○ 大体の時間を知らせ、見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 学習カード                       |
| す<br>す<br>め<br>る | 2 自分のめあてに沿って練習し、作品を仕上げる。                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の絵を確かめさせることにより、書きたい場面を想起させ、意欲を高める。</li> <li>○ 書く用具は、大筆、小筆、筆ペン、フェルトペンなど、一人ひとりが書きたい用具を自由に選ばせておく。</li> <li>○ 用紙は、何枚も書き進められるよう多数用意しておく。</li> <li>○ 練習に時間をとられ過ぎないように、早めに自分の選んだ用紙に挑戦するようにする。</li> <li>○ 姿勢、執筆などに気をつけるように声を掛ける。</li> <li>○ 書いたところがすれて汚れないように助言する。</li> <li>○ 机間指導を行い、一人ひとりのめあてに沿った助言を行い、向上が見られる点を称揚し、意欲の持続を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                   | 書く用具<br>用紙<br>毛せん           |
| 確<br>か<br>め<br>る | 3 まとめをする。                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 印を押し、絵を貼って作品に仕上げるができるようにする。</li> <li>○ 学習カードで自己評価をし、グループで相互評価をすることにより、充実感や喜びを味わうことができるようにする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 印でのり<br>学習カード               |
|                  | 4 鑑賞会をする。                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の書いた作品を教室壁面に貼り、学習の成果を感じることができるようにする。</li> <li>○ 友達の作品について、よいところや工夫しているところを見つけ、伸びを認め合うことができるようにする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | テープ<br>付箋                   |
| 評価               | <ul style="list-style-type: none"> <li>読みやすく、丁寧に書くことができたか。</li> <li>課題意識をもって、意欲的に学習に取り組むことができたか。</li> <li>自分や友達の伸びを見つけることができたか。</li> </ul>           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                             |